

3月2-8日

[イザヤ41-42章](#)

8番の歌と祈り | 開会の言葉 (1分) 有田悟 | 米山英行

神の言葉の宝

1. 「恐れてはいけない」 (10分) 大谷優志

エホバは、「ある者を日の出の方から」立ち上がらせると予告した。その者は人々を震えさせる。(イザ41:2, 5。イ-2 20 ページ10節)

エホバを崇拝する人たちは恐れる必要はなかった。(イザ41:10。イ解記事5 4-7節)

エホバはその人たちを助けた。(イザ41:13)



じっくり考えてみよう [イザヤ41章](#)の預言は今のクリスチャンにとってどう役立つか。(塔研16.07 18 ページ4-5節)

2. 宝石を探し出す (10分) 阿部直生

[イザ41:8](#) しかし、イスラエルよ、あなたは私に仕える者であり、ヤコブよ、私が選んだあなたは、私の友アブラハムの子孫である。

エホバは、自分が確かにアブラハムの友であることをどのようにはっきり示したか。

([塔01 10/1 20 ページ3節](#)) エホバはご自分の友アブラハムに、「わたしはあなたの盾である」と言われました。(創世記15:1。イザヤ41:8) これは単なる言葉にとどまりませんでした。エホバはアブラハムとその家族をファラオやアビメレクから保護し、救い出されました。アブラハムがロトを4人の王の同盟軍から救出するのを助けることもされました。また、100歳のアブラハムと90歳のサラの生殖力を回復させ、約束の胤がこの二人を通して来るようにされました。エホバは幻、夢、み使いなどを通して、折あるごとにアブラハムに意思を伝達されました。そればかりか、アブラハムの存命中、また死後長期にわたって、アブラハムへの忠節を実証されました。アブラハムの子孫であるイスラエル国民は強情でしたが、それにもかかわらずエホバは、何百年にもわたって彼らに対する約束を守られました。エホバとアブラハムとの関係は、真の忠節とは何かを示すものです。それは行動に移される愛なのです。—創世記12章から25章。

今週の範囲からどんな宝石を見つけたか。(イザヤ41:6~10) 諸国民も勇気を必要としていて偶像に頼りますが、私たちは9節でエホバが私たちを選んでしかも10節で傍にいてくださるので、安全性や安心感のレベルが全く違う。エホバが「恐れてはいけない」と言ってくださることに感謝するとともに、エホバの保護の素晴らしさを真剣に伝える必要も強く感じた。

3. 聖書朗読 (4分) イザ42:1-13 (教励第11課) 長谷川貴史

野外奉仕に励む

4. 会話を始める 有田廣子 愛込6-4 枝並あや子

(3分) 家から家で。家の人々が記念式の招待状を受け取り関心を示す ([愛込レッスン6ポイント4](#))

5. 会話を始める 長谷川 裕美子 愛込 3-5 田中 弘子

(4分) 日常生活で。親族を記念式に招待し、出席しやすい会場を jw.org で検索して教える。

([愛込 レッスン 3 ポイント 5](#))

6. 信じていることを説明する 金刺 桂子 教励 1 課 小島 千晴

(5分) 話。 [イ聖 記事 60](#) 主題: どうすれば死への恐れを取り除けますか。 ([教励 第 1 課](#))

クリスチャンとして生活する

19 番の歌

7.3 月 7 日土曜日に始まる記念式のキャンペーン 滝秀貞

(5分) 奉仕監督による話。会衆のキャンペーン、特別講演、記念式の予定を伝える。3月と4月、いつもの伝道にプラスしてできることがないか考えるよう勧める。伝道者は補助開拓奉仕の要求時間として15時間を選択できる。

8.3 月の「組織の活動の進展」 (10分) 討議。有田悟 [動画を再生する](#)。画面に表示される質問をする。

1959年ニューヨーク州サウスランシングで1回目の王国選挙学校が開かれました。この学校は、愛情深い牧者になるために、兄弟たちをトレーニングするためのもので、徐々に世界中に広まっていきました。

最近はどうな感じなんですか。2025年度にも王国選挙学校が行われました。世界各地の巡回監督、長老たち、援助奉仕者たちが出席しました。学校はどんな風に運営されているんでしょうかどのように兄弟たちのためになったのでしょうか。長年統治体の奉仕委員会が王国宣教学校の運営をしてきました。この学校は世界各地で一生懸命奉仕している責任ある兄弟たちをトレーニングするために欠かせないものです。

特に2025年はこれまでとは一味違いました。歴史に新たなページが刻まれました。従来とは違ういろんな新たな取り組みがありました。①つは統治体と援助者たちが海外に出向いて、その国で教えたことです。そのために寄付が使われました。②つ目に巡回監督向けの特別な授業もありました。これは10年ぶりのことでした。そして③つ目に出席した兄弟たちの妻たちも最後の2つの話を楽しみました。これは史上初のことでした。集まっている巡回監督長老援助奉仕者、そして兄弟たちをよく支えている姉妹たちを見ると、本当にグッときました。みんなが目を輝かせて、学校への感謝を語る姿を見て、愛さずにはいられないさすがエホバが愛している人たちだと感じました。

南アフリカ支部の区域で奉仕している巡回監督全員が同じクラスに出席しました。そんなのは初めてでした。それだけでも嬉しかったのに統治体の兄弟が来てくれたんです。いや、本当にびっくりでしたよ。エホバの愛を肌で感じました。兄弟たちが自分のことを後しにして働いている姿勢に、本当に感動しましたと伝えは皆さんのおかげで世界各地の兄弟姉妹のニーズを知ることができています。そして何よりもすごく楽しかったです。友達がたくさんできて力をもらいました。

学校のテーマ聖句は、詩篇 78:72 節でした。ダビデは清い心で民を世話し、巧みな手腕で導いた。出席した兄弟たちは、どうすればエホバとイエスにもっともっと見習えるか包容力があり、背中で語れる牧者になるにはどうすればいいかを学びました。エホバの愛をひしひしと感じました。この学校はエホバからの素敵なプレゼントでした。エホバが聖なる力でサポートしてくれることが前よりもっとよくわかるようになりました。

さらに支部委員の兄弟たちもインストラクターを務め、生徒たちみんなにやる気を吹き込みました。こうやって長老たちみんなまで学べて気合が入った感じがします。巡回監督長老援助奉仕者の皆さんには感謝してもしきれません。

今回私たちが王国宣教学校で教えることができ、皆さんに直接会って感謝を伝えられたので、とても嬉しかったです。お金も時間もかかりましたけど、そうするだけの価値が十二分にあったと思います。それもこれも皆さんの寄付のおかげです。愛する兄弟姉妹、気前よく寄付してくださって、本当にありがとうございます。2025年の王国宣教学校はこれまでとは全く違った画期的な学校になりました。そしてこの学校はエホバからの愛の溢れた素敵なプレゼントでもありました。

9. 会衆の聖書研究 (30分) 大 レッスン 66-67 星 延宏 | 長谷川 瑛一